

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年11月26日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【4号機 燃料取り出しカバー設備のサーバ計算機[※]スレーブ側内蔵ディスクの不具合について】 4号機 燃料取り出しカバー設備の「サーバ計算機ソフト異常」と「サーバ計算機内蔵ディスク(スレーブ)異常」警報が発生し、その後すぐに「サーバ計算機ソフト異常」警報クリアを確認。 サーバ計算機に内蔵されているディスクはマスター側とスレーブ側が同期しており、マスター側は正常なため免震重要棟への伝送は異常なし。 今後、スレーブ側内蔵ディスクを交換予定。</p> <p>※サーバ計算機:4号機燃料取り出しカバー設備のダストモニタの指示を免震重要棟に伝送する。</p>	GⅢ	11月18日
2	<p>【6号機 残留熱除去系(B)圧力抑制室側吸込弁のシート漏えい[※]について】 6号機 残留熱除去系(B)圧力抑制室側吸込弁にシート漏えいを確認。 弁の増し締めを実施したが、シート漏えいは改善せず。 今後、当該弁の運用方針を検討予定。</p> <p>※シート漏えい:弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	11月22日
3	<p>【プロセス主建屋除湿機設置工事における電源設備使用時の手続き不備について】 プロセス主建屋除湿機設置工事において、除湿機を新たに設置して低圧配電盤より受電する作業を行っていたが、この作業において以下の手続き不備を確認した。 ①新たに設備を新設し、電源設備より電源を供給する場合には、電源設備の管理グループに「電源使用申請書」を提出し、併せて単線結線図の改定を行う社内ルールとなっているが、今回はこの申請がされていなかった。 ②除湿機を設置する作業を行うための作業許可申請は申請していたが、その申請書の中に低圧配電盤のブレーカを「入」にする安全処置が申請されていなかった。 原因調査および対策検討を実施中。</p>	GⅢ	11月21日